

100年前の鳥の眼 × 現代のテクノロジー × みんなの想い。

けいはんな 鳥瞰図プロジェクト

— 地域を見る視点を未来へ —

100年前

吉田初三郎が描いた鳥瞰図



現代

ドローンで見た
けいはんなの今



未来

みんなの視点から
「令和版けいはんな鳥瞰図」へ

あなたの想いが、
このまちの未来を描く。



2026

11.7

土

開催予定

けいはんな学研都市

※詳細時間・会場は後日お知らせします。

主催

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

企画・監修

京都日本文化資源研究所 所長 石川 肇

ドローン実演・技術協力

一般社団法人DPCA 代表理事 上田 雄太

見る・知る・書く・つながる
そして未来へ

— 一人ひとりの視点が、新しい鳥瞰図になる —

1 知る 吉田初三郎の鳥瞰図を学ぶ



京都日本文化資源研究所 所長 石川 肇が、吉田初三郎の鳥瞰図の魅力や、地域を「見て」「編集して」「描く」視点について、実物の鳥瞰図を使って解説します。

2 空から見る ドローンを飛ばす



一般社団法人DPCA（ドローン撮影クリエイターズ協会）代表理事 上田 雄太が、会場の外で小型ドローンを実際に飛行。参加者全員で、空から見た「けいはんなの今」をその場で見ます。

3 考えて書く 紙製クリアファイル=思考ノート



参加者全員に、吉田初三郎の鳥瞰図を用いた紙製クリアファイルを配布。紙製なので鉛筆やペンで直接書き込めます。「未来に残したいもの」「こんな場所があったらいい」「これからのけいはんなをどうしたいか」を自由に書き込み、このクリアファイルそのものが一人ひとりの「思考ノート」になります。

4 共有する みんなの思考ノートを展示



完成した思考ノートを会場の壁一面に展示します。さまざまな世代・立場の「未来への視点」を共有し、その前で参加者全員による記念撮影を行います。

5 残す その場でスキャンしてデータ化



展示した思考ノートは、その場でスキャンしてデータ化。原本は参加者が記念として持ち帰ります。

6 未来へ 「令和版けいはんな鳥瞰図」を描く



集まった一人ひとりの視点をもとに、後日「令和版けいはんな鳥瞰図」を制作。完成した鳥瞰図は、参加者の皆さんへ画像データとしてお届けします。

100年前、一人の絵師が描いた鳥瞰図から、
みんなでつくる令和の鳥瞰図へ。